

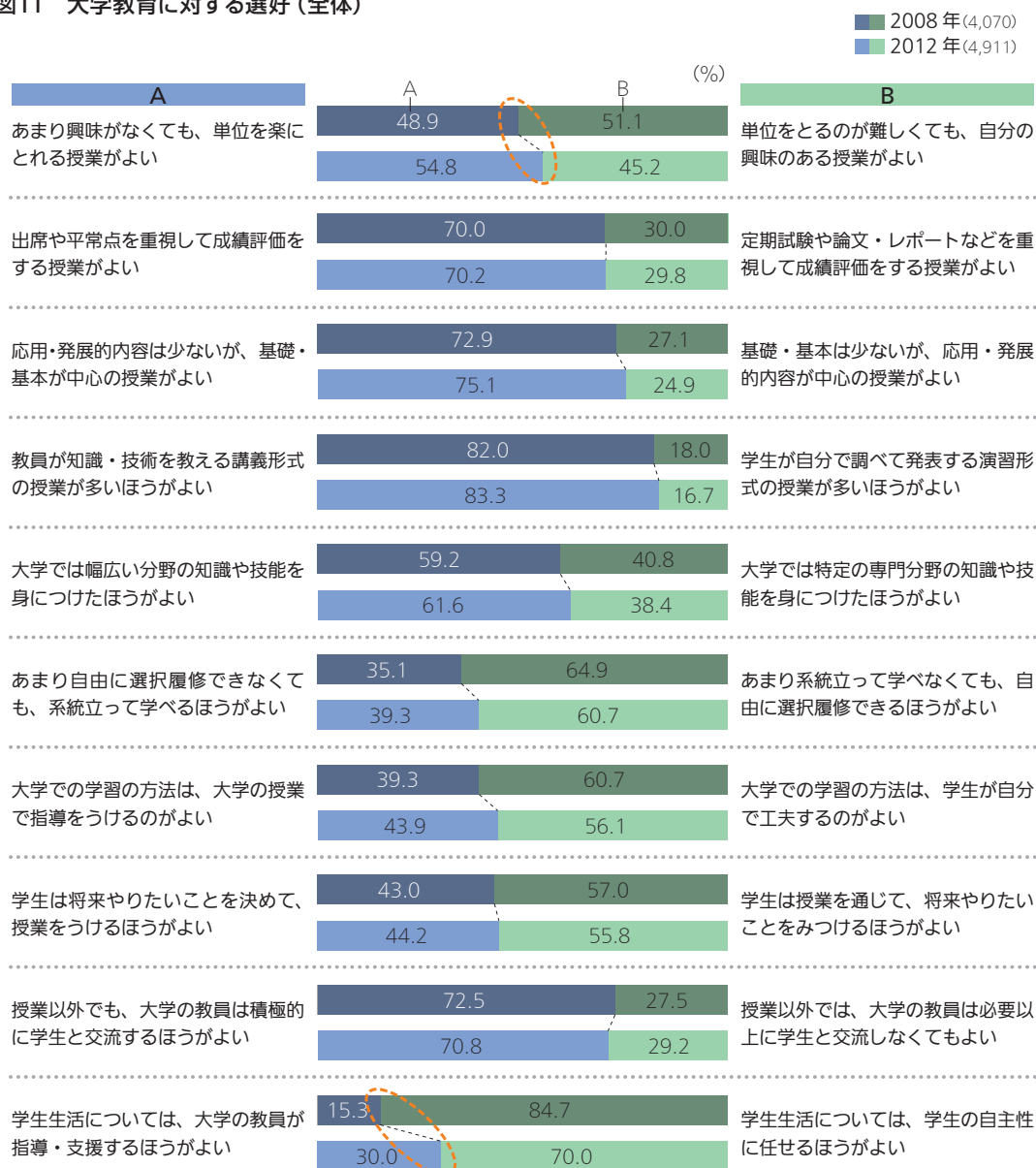
# 大学教育に対する選好

## 「学生生活については大学の教員が指導・支援するほうがよい」と考える学生が増加

2008年から変化のみられた項目として、学生生活について、「学生の自主性に任せる」より「大学の教員が指導・支援するほうがよい」と考える学生が2008年の15.3%から2012年は30.0%に増えた。また、「単位をとるのが難しくても、自分の興味のある授業」よりも「あまり興味がなくても、単位を楽にとれる授業がよい」と考える学生が48.9%から54.8%に増え、過半数を超えた。学生の受け身姿勢が強まっている様子がうかがえる。

**Q** 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか。近いものをお選びください。

図11 大学教育に対する選好（全体）



注) 2008年調査から5ポイント以上の違いがみられたものに○をしてる。